

女子ビーチバレー部 全日本大学選手権大会優勝

8月5日から7日の3日間、“ビーチバレーボールの大学王者”を決める「第37回全日本大学男女ビーチバレーボール選手権大会」が川崎マリエン(川崎市)で開催され、本学女子ビーチバレー部の笹渡美海選手(情報マネジメント学部3年生)と宇都木乃愛選手(同1年生)ペアが優勝しました。

昨年の準優勝から「大学日本一」奪還をめざし挑んだ同大会には、笹渡・宇都木ペアと共に関東予選を突破した、小林多希理選手・瀧澤結羽選手(ともに同1年生)の2ペアが出場しました。

小林・瀧澤ペアは、大阪学院大学との1回戦で幸先よく第1セットをとったものの、初出場の緊張からか途中からペースが乱れ、第2・第3セットを落とし悔しい逆転負け。

決勝に進出した笹渡・宇都木ペアは、昨年の決勝戦で敗れた日本体育大学と対戦。雪辱を果たすべく挑んだ第1セットは、6点差のリードを奪い圧勝ムードも漂うなか、日体大ペアの粘り強いプレーに焦り、まさかの逆転を喫して第1セット落としました。第2セットも苦しい展開でマッチポイントまで追い込まれたものの土壇場で驚異の逆転劇を演じ、その勢いで第3セットを制し、優勝を手にしました。

試合後、「チャンピオンの座を奪還したものの、まだまだ課題も多いので、来年、連覇できるようさらに上のレベルを目指して練習に取り組みます」と意識は、既に来年に向かっていました。



優勝した笹渡・宇都木ペア



セザンジュ 関東管区警察局長より特別功労賞を受賞

令和7年防犯功労団体・防犯功労者表彰式が5月27日、グランドアーク半蔵門(千代田区)で開かれ、特別強化クラブ「セザンジュ」が関東管区警察局長・関東防犯協会連絡協議会会长より特別功労賞を受賞しました。

防犯功労表彰は、地域安全活動に貢献した個人、団体に対して毎年行われているもので、学生団体では初受賞となりました。

セザンジュは制服姿で日曜・祝日の歩行者天国実施時間帯に自由が丘駅周辺に立ち、事故を未然に防ぐ「見せる安全」を目的に街を巡回し、人気スポットへの道案内を行ってきました。昨年からは、東急電鉄の依頼で自由が丘駅構内・シースルー改札口にも立ち、来街者の道案内に対応しています。地元の警視庁碑文谷警察署の要請に応え、同署管内で行われる防犯広報イベントにも多数参加。これらの活動が評価され、今回の受賞となりました。

また、6月7日には、新潟県生涯学習センターで開催された警察庁・関東管区警察局主催「令和7年度防犯ボランティアフォーラム 関東ブロック」にも東京都代表として登壇。セザンジュは、多岐にわたる活動内容の紹介や、人材確保などの課題とその取り組みについて発表しました。



表彰式に招かれた セザンジュ代表

